

平成 28 年 4 月 1 日

各 位

長野県信用農業協同組合連合会

後期中期計画について

長野県信連（理事長 山岸 享）は、平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間を計画期間とする後期中期計画を策定しましたので、別添のとおりお知らせいたします。

当会では、後期中期計画期間を「ＪＡおよび当会が農業金融分野においてこれまで以上に存在価値を高めること、および地域のライフラインを担う金融機関として役割を果たすことにより、農業担い手の皆様からの信頼と地域の皆様からの事業利用を通じた支持を拡大する期間」と位置付け、ＪＡ、組合員、地域の皆様に全力でサポートし、課題解決の提案・実現ができるよう取り組んでまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

長野県信連 経営企画部

Tel: 026-236-2423

2018 JA長野県ビジョン

食と農をおこし、
一人ひとりの笑顔が生まれる地域を
みんなで実現します
～ 組合員とともに一歩先のJAへ改革します ～

後 期 中 期 計 画

(平成28年度～30年度)

～少子高齢化・人口減少社会への対応を進め、JA自己改革への取り組みを完遂する～

長野県信用農業協同組合連合会

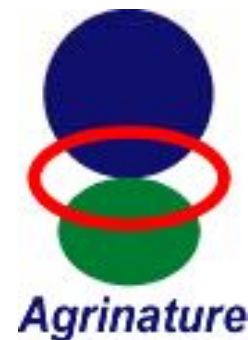
I 経営方針

《経営理念》

いのちを育む農業を基本に据え、安全安心な生活環境・地域づくりを限りなく支援します。

当会の経営理念は、制定以来その本質を継承し、日々の業務の根底として、経営の大きな指針となるものです。

この経営理念のもと、農業と自然を基本とした、みどり豊かな信州づくりと地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たすため、自信と責任を持って行動し、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。



《経営目標》

長野県JAバンクの県域機能を担う地域金融機関として、農業・くらしを支え、地域の活性化に取り組みます。

《中期計画 基本目標》

1. 農業所得増大と地域活性化に貢献する。
2. JA・信連一体となった事業を展開し、地域シェアを拡大する。
3. 資金の効率運用と健全経営の確保により、安定還元を継続する。

《中期計画 行動指針》

平成28年度からの次期3カ年は、JAおよび当会が農業金融分野においてこれまで以上に存在価値を高めること、および地域のライフラインを担う金融機関として役割を果たすことにより、農業担い手の皆様からの信頼と地域の皆様からの事業利用を通じた支持を拡大するときであり、取り組み成果によって組織の存在意義を高めなければなりません。そこで次の3点を中期計画の行動指針として全職員が共有し、基本目標達成に向けて全力で取り組みます。

～ ポジティブ・コミュニティ・イノベーション ～

- 農を活かして地域を活性化し、農業・地域を元気にしよう。
- 地域に欠かせないメンバーシップバンクとして、組合員・地域のくらしを支えよう。
- 既成概念や固定概念にとらわれず、最善の解決策を見つけ出そう。

Ⅱ 事業方針

基本目標 1

農業所得増大と地域活性化に貢献する。

基 本 方 針	重 点 施 策
(1) 農業メインバンク機能強化	ア. 農業資金残高・シェア県下 No.1 の維持
	イ. 担い手経営体の満足度向上
(2) 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供	ア. 「JAバンク・パートナー」としての利用者の拡大
	イ. 農村・地域の基盤維持に資する金融サービスの提供
(3) 地域産業の活性化	ア. 地域活性化のための支援強化
	イ. 観光産業の活性化

基本目標2

JA・信連一体となった事業を展開し、地域シェアを拡大する。

基本方針	重点施策
(1) 生活メインバンク機能強化	ア. JA貯金残高県内シェアの向上
	イ. JABankローン残高の維持
(2) JAの事業推進・事業基盤の強化	ア. JAの現場営業力強化
	イ. 事務管理態勢の充実・強化
	ウ. 信用事業運営の合理化・効率化
	エ. JASTEM全国機能の展開・全国統一化
(3) JABankシステムの経営健全性確保	ア. 自主ルールに沿った態勢強化
	イ. 法令・監督指針等に基づく態勢強化

基本目標3

資金の効率運用と健全経営の確保により、安定還元を継続する。

基 本 方 針	重 点 施 策
(1) 目標経常利益の確保	ア. 余裕金運用利回りの確保
	イ. 貸出資産の質の向上と量の確保
	ウ. 計画利益の確保
(2) 健全経営の確保	ア. 自己資本造成計画の実践と早期自己資本の復元
	イ. コンプライアンスの徹底
	ウ. 適正・厳格な審査の実施
	エ. リスク管理債権の圧縮
(3) 事業運営体制の確保	ア. 経営目標を実現する機構改正・業務見直し
	イ. 施策実践を担う人材の開発・育成